

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

東松島市教育委員会

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

令和3年5月27日（木）

3 参加児童生徒

東松島市内の小学校6年生（334人）、中学校3年生（339人）

4 調査結果（データ）の概要

4-1 教科に関する調査結果

(1) 教科に関して

今年度は、小学校は国語科、算数科、中学校では国語科、数学科の調査が実施された。

小学校においては、国語科の正答率は、仙台市を除く県の平均正答率と同様の結果となり、前回と比べ伸びが見られている。また、算数科は県及び全国の平均正答率を下回り、前回と同様の結果となった。

中学校の国語科は、県・全国の平均正答率を下回り、前回より若干差が開く結果となっている。また、数学科については、県・全国の平均正答率を下回ったものの、前回と比較するとその差は縮まってきている。

※ 平均正答率…各児童生徒について全設問における正答数の割合を算出した値（個人の正答率）を足し合わせ、児童生徒の人数で割った値のこと。

※ 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されなかった。

○ 平均正答率の状況（単位%） ※宮城県…仙台市を含まない

		国語（平成31年・令和元年度）	国語（令和3年度）
小学校 6年	本市	58	62
	県 (県との比較)	61 (-3)	62 (±0)
	全国 (全国との比較)	64 (-6)	65 (-3)
中学校 3年	本市	69	59
	県 (県との比較)	71 (-2)	63 (-4)
	全国 (全国との比較)	73 (-4)	65 (-6)

		算数・数学（平成31年・令和元年度）	算数・数学（令和3年度）
小学校 6年	本市	62	64
	県 (県との比較)	64 (-2)	66 (-2)
	全国 (全国との比較)	67 (-5)	70 (-6)
中学校 3年	本市	50	48
	県 (県との比較)	55 (-5)	52 (-4)
	全国 (全国との比較)	60 (-10)	57 (-9)

4-2 学習や生活習慣の様子について

(1) 学習に対する関心・意欲・態度 [単位%, ()は県(仙台市を含む)との比較]

	質問事項		小学校	中学校
1	国語の勉強は好きですか。	R3	63.7 (+4.3)	56.9 (-4.3)
2	国語の勉強は大切だと思いますか。		93.7 (+0.3)	90.2 (-1.7)
3	国語の授業の内容はよく分かりますか。		88.9 (+2.9)	79.7 (-1.2)
4	算数・数学の勉強は好きですか。		59.5 (-6.0)	56.4 (-2.4)
5	算数・数学の勉強は大切だと思いますか。		91.4 (-2.0)	81.7 (-2.0)
6	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。		82.6 (-0.6)	77.0 (+2.7)
7	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。		72.7 (+3.7)	69.9 (-5.0)

【小学生】

小学校では、国語科に関する学習意欲の高まりが見られている。算数科については、児童が算数の楽しさを感じながら学習を展開できるよう授業改善が必要であることが分かる。一方、「自分とは違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という設問の回答から、互いに学び合う協同的な学びのよさを実感していることがうかがえる。

【中学生】

中学校では、一人一人の生徒が互いに意見を交流し合う対話的な学習を通して、主体的に学ぶことのできる授業づくりの推進が求められる結果となった。



(2) 家庭での基本的な生活習慣等について

[単位%, () は県(仙台市を含む)との比較]

No	質問事項	年度	小学校	中学校	
1	朝食を毎日食べていますか。	R3	95.5 (-0.3)	92.0 (-2.0)	
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。		82.0 (-1.1)	83.4 (-0.2)	
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。		88.6 (-2.2)	92.7 (-1.4)	
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。		70.0 (+1.0)	68.1 (-2.9)	
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか。	R3	4時間以上	19.8 (+5.2)	5.4 (-3.4)
			3~4時間	22.7 (+7.7)	22.3 (-1.5)
			2~3時間	23.9 (-1.7)	38.0 (-0.8)
			1~2時間	20.1 (-3.2)	18.7 (-1.0)
			1時間未満	10.3 (-2.8)	9.3 (+0.8)
			全くしない	3.2 (-4.9)	6.3 (+1.8)
6	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)	R3	2時間以上	5.4 (-1.1)	6.5 (+1.1)
			1~2時間	7.8 (-3.0)	9.1 (-0.2)
			30分~1時間	14.4 (-4.4)	14.5 (-0.3)
			10分~30分	26.0 (+2.1)	19.5 (-1.1)
			10分未満	14.1 (-1.5)	15.3 (+2.7)
			全くしない	32.3 (+7.9)	35.1 (-2.0)

【小学生】

小学生の「朝食、寝る時刻、起きる時刻」については、朝食を毎日とることや同じくらいの時刻に寝ることに関しては、改善傾向が見られている。一方「起きる時刻」については、県や全国を下回る結果となった。

【中学生】

中学生の「朝食、寝る時刻、起きる時刻」についても、県・全国とほぼ同じまたは下回る結果となった。しかし「寝る時刻」については前回の結果より大幅に改善されていることが分かった。「起きる時刻」については、小学生と同様の傾向が見られるため、今後も基本的な生活習慣の定着を図っていくことが大切である。

また、小・中学生ともに、家庭でのスマートフォン等でのゲームに費やしている時間が県・全国よりも長くなっていることが分かった。市内小・中学校が一斉に取り組んでいる「デジタルメディア・コントロール」によって、中学生における読書時間が長くなっているなど、成果が出始めていることから、この取組を今後も継続し、授業以外の時間の使い方を見直しながら、計画的に過ごすよう意識させていくことが必要である。

(3) 地域生活について

No	質問事項	年度	小学校	中学校
1	今住んでいる地域の行事に参加していますか	R3	61.6 (-0.4)	54.0 (+8.7)
2	地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることはありますか		53.3 (-0.5)	46.9 (+0.3)

【小学生】

小学生については、新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な行事等が中止となってきた状況が影響し、地域等の行事に参加できているという実感がつかめなかったのではないかと推察している。

【中学生】

中学生については、地域が子どもたちの居場所になっていることがうかがえる結果となった。また、主体的に地域と関わろうとする意識が芽生えていることも分かった。これは、コミュニティ・スクールとしての取組や地域協働学習の成果であると言える。今後も、家庭・地域・学校で子どもたちを育てていく雰囲気醸成させていくことが大切である。

(4) 学習時間等について

[単位%, ()は県(仙台市を含む)との比較]

No	質問事項	年度	小学校	中学校	
1	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	R3	79.9 (+4.6)	59.8 (-8.7)	
2	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。	R3	3時間以上	4.8 (-1.5)	8.0 (-0.7)
			2～3時間	17.1 (+2.6)	27.7 (+0.7)
			1～2時間	52.4(+11.2)	34.2 (-3.0)
			30分～1時間	18.3 (-8.2)	16.8 (+0.7)
			30分未満	5.4 (-2.9)	7.1 (+0.3)
			全くしない	2.1 (-1.0)	5.6 (+1.6)
3	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。	R3	4時間以上	1.2 (-3.1)	4.4 (-3.9)
			3～4時間	4.8 (-1.1)	15.3 (-1.0)
			2～3時間	17.7 (+2.5)	23.0 (-4.9)
			1～2時間	43.1 (+9.0)	28.9 (+3.9)
			1時間未満	26.0 (-5.3)	18.9 (+3.6)
			全くしない	7.2 (-2.0)	9.4 (+2.4)

【小学生】

小学生については、今後、さらなる家庭学習の充実を図り、質的な向上を図っていくことが大切である。

【中学生】

中学生の「自分で計画を立てて勉強する」ことについて、課題となっている。また、家庭学習の時間に関しても同様の傾向が認められ、単に時間を延ばすだけではなく、何をどのように取り組むのか、質的な充実を目指した工夫が必要である。

今後、「自分で計画を立てて学習する」「家で予習・復習をする」といった家庭学習の習慣が身に付くように『家庭も地域も学びの場』(東松島市教育委員会作成リーフレット)の積極的な活用を推進していく。

(5) 自分を大切に思う思い等について [単位%, ()は県(仙台市を含む)との比較]

No	質問事項	年度	小学校	中学校
1	自分にはよいところがあると思いますか。	R3	72.1 (-3.5)	71.3 (-4.4)
2	将来の夢や目標をもっていますか。 (※R1までは「夢や希望」となっていた。)		77.9 (-2.1)	66.9 (-2.7)
3	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。		95.6 (±0)	91.7 (-3.2)
4	人が困っているときは、進んで助けていますか。		88.0 (+1.0)	82.9 (-5.8)
5	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思えますか。		94.6 (-1.7)	94.1 (-1.9)

【小学生】

小学生については、思いやりの心情が育まれてきているといえる。しかし、県や全国と比較すると、まだ課題が残る。学校や家庭、地域において児童の活躍や成長を認め、励ましながら成長を見守っていく必要がある。

【中学生】

中学生については、一人一人の生徒のよさを認め、褒め、自己肯定感をもたせる声掛けや指導・支援を徹底するとともに夢や目標をもたせ、学習意欲を向上させることが必要である。

そこで、現在取り組んでいる「心あったかイートころ運動」を継続・充実させ、児童生徒の意欲や姿を認めていくことで、自己有用感をさらに高められるよう、地域とともに取り組んでいくことが重要である。

今後も、教育活動の中で意図的に児童生徒への「出番」・「役割」・「承認」を大切にし、「自己存在感を与える」「自己決定の場面を与える」「共感的な人間関係(児童・生徒・教師・保護者・地域の人々も含めて)の構築」の生徒指導の3機能を踏まえた継続的な指導を行うことが必要である。

4-3 自己肯定感や読書活動、ゲーム時間と学力の関係について

(1) 自己肯定感と学力の関係 「自分にはよいところがあると思いますか。」

校種		平均正答率 (%)	
		国語	算数・数学
小学校	当てはまる	65.0	67.9
	当てはまらない	55.6	57.2
中学校	当てはまる	60.4	51.0
	当てはまらない	58.9	42.5

この設問で、「当てはまる」と回答した児童生徒と「当てはまらない」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率を比べてみると、平均 7.5 ポイントの開きがあることが分かった。このことから、自分を肯定的に捉えることが、学習意欲や学習の定着に良い影響を与えていると言える。児童生徒一人一人のよいところを認め、励ましていくことで、苦手なことにも取り組むことができ、課題解決に向けて粘り強く取り組むことができるようになると考えられる。今後も学校だけではなく、家庭や地域の協力を得ながら、児童生徒のもつよさを認めつつ、次の目標に向かって取り組めるように励ましていくことが大切である。

(2) 読書時間と学力の関係 「読書時間について」

校種		平均正答率 (%)	
		国語	算数・数学
小学校	2時間以上	67.5	65.6
	全くしない	61.5	64.2
中学校	2時間以上	64.9	49.4
	全くしない	53.7	43.8

小・中学生ともに「2時間以上」と回答した児童生徒の平均正答率は、「当てはまらない」と回答している児童生徒の平均正答率を全て上回る結果となった。特に、国語科の平均正答率に顕著に表れている。これは、読書のよい影響が蓄積され、言葉の学びが積み上げられていると考えられる。

市図書館等と連携し、読書の励行と読書ジャンルの拡充を図り、児童生徒が読書に親しむことができるよう、さらに密な連携を進め、読書の励行を図っていく。

(3) ゲーム時間と学力の関係

「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」

校種		平均正答率（％）	
		国語	算数・数学
小学校	全くしない	66.9	67.4
	4時間以上	52.5	53.9
中学校	全くしない	66.2	61.4
	4時間以上	56.1	39.6

「全くしない」と回答した児童生徒と「4時間以上」と回答した児童生徒の各教科の平均正答率を比べてみると、平均 15.0 ポイントの開きがあることが分かった。これは、家庭での時間の過ごし方にも関わる問題であり、家庭学習の時間や家族とのコミュニケーション（団らん）の時間等を通して学ぶことが重要であることが明確となった。

昨年度来、東松島市「子ども未来サミット」において、東北大学加齢医学研究所 瀧靖之 教授から基調講演をいただいております。その様子を幼稚園や保育所、保育園を含む保護者へライブ配信を行うなど、啓発活動に努めている。今後も、家庭との連携の下で取り組んでいくことが必要である。

5 「確かな学力」の育成に向けた本市の取組

児童生徒の学習支援	教師の指導力向上	教育環境整備支援
<p>◎学び支援事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日放課後の学習支援 ・長期休業での学習支援 ・学校教育指導員等による授業サポート 	<p>◎校内研究・指導主事訪問の活用, 小中連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の実施 ・協働研究の充実 ・一人一回の研究授業 <p>⇒学校間における情報共有と校内研究の活性化</p>	<p>◎各種支援員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科教育指導員 ・不登校相談員 ・学校巡回相談員 ・特別支援教育支援員
<p>◎読書のすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育支援員を配置 ・読み聞かせボランティアの活用 ・市図書館との連携 ・読書アプリの導入 	<p>◎各種研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上授業研修会 ・協同的な学びの充実研修会 ・教師塾 ・ICT活用研修会 等 	<p>◎コミュニティ・スクールの取組充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校環境改善の支援 ・学校運営協議会での学力向上策検討や熟議の実施
<p>◎「家庭も地域も学びの場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの積極的な活用 ・学習課題の工夫 <p>◎ALTの配置 (英語で話そう)</p> <p>◎ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・タブレット端末 ・タブレットドリル 	<p>◎標準学力調査(年2回)・全国学力・学習状況調査の活用による実態把握と授業改善の対策</p> <p>◎魅力ある学校づくりにおける実態調査と対策</p> <p>◎学力向上推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県総合教育センターとの連携による授業づくり 	<p>◎デジタルメディア・コントロールの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東松島市「子ども未来サミット」の実施 ・PTA・地域との連携 <p>◎学習環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日数増加 ・教室へのエアコン整備 ・ICT環境の整備 ・プログラミング教育教材整備 等

本市では、宮城県教育委員会が示している「学力向上に向けた5つの提言」(※)を踏まえ、児童生徒の「確かな学力」の向上を図るため、上記のような取組を行っていく。

「出番」・「役割」・「承認」を与え、誰一人取り残さない、温かな人間関係づくりや学級づくりを進め、将来に夢と希望をもち、志高く生きる児童・生徒の育成に努めます。また、各学校では、確かな学力を支える健康な体づくりと体力の向上に努めています。

6 保護者、地域の皆様へ

今回の調査から、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、知識の活用を図る指導の充実が、学力向上にとって極めて重要であることが分かりました。

また、家庭における「はやね・はやおき・朝ごはん」などの生活習慣はもとより、テレビの視聴時間、ゲームをする時間、携帯電話やスマートフォンの使用時間について節度をもつことや、計画的に家庭学習をすることが、児童生徒一人一人の学力向上に大きく寄与するものと考えられます。

児童生徒の確かな学力の定着を図るために、各家庭でも以下のような取組をお願いします。

- **基本的な生活習慣（はやね・はやおき・朝ごはん）や家庭学習習慣（学年に応じた内容、時間を決めた取組等）**を身に付けさせましょう。
- **テレビ視聴時間やゲーム、携帯電話・スマートフォン等の利用**については、東松島市「子ども宣言2021」等をもとに、お子さんとしっかりルールを作りましょう。
- **家庭での読書**をさらに勧め、1つのことに集中する姿勢を身に付けるとともに、文に触れる機会を大切にしましょう。音読をすると、さらに効果があがります。
- 様々な場面において、子どものよさを見だし、**本気でほめて**あげましょう。
- 子どもの失敗を受け止め、次にどのようにすればよいのかを一緒に考えましょう。失敗することは、決して悪いことではなく、次の学びにつながる失敗にすることが大事です。
- 郷土の自然や文化に触れる**幅広い体験**をさせましょう。

自尊感情を養いながら、将来への「志」をもたせることが、学力向上の土台であり、学習習慣や生活習慣を確立させていくことが極めて重要です。

今後も、子どもたちに対して、家庭や地域での温かい見守りやお声掛けをよろしく願いいたします。

東松島市図書館では、家族で読書に親しむ「家読」を勧めています。

ぜひ、市図書館HPをご覧ください。



家庭も地域も学びの場

～望ましい生活習慣と家庭学習の習慣づくりが大事です～

<学びを定着させる家庭学習>

東松島市学力向上推進委員会

- 1 時間を決めて、毎日取り組もう！！
- 2 分からないことは、しらべたり、先生や友だちに聞いたりしよう！！
- 3 お気に入りの本を手もとに置こう！！

<学習を定着させるには復習が大切！>

- 1 学校で学んだことを、家庭で反復すると忘れる量は少なくなります。
- 2 復習は、学んだ直後の方が効果は高くなります。

※「学力向上に向けた5つの提言」

(平成25年10月 宮城県教育委員会)

- 1 どの子どもにも積極的に声掛けをするとともに、子どもの声に耳を傾けること。
- 2 子どもをほめること、認めること。
- 3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- 4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- 5 家庭学習の時間を確保すること。

理 解・継 続・自校化

(学力向上に向けた5つの提言の充実に向けた「3つの柱」)

【理 解】

- それぞれの5つ提言の意味を確認しましょう。
(その中に含まれた意味も確認しましょう)

【継続】

- 学校生活のあらゆる場面で継続しましょう。
- 終結まで確実に終える授業を継続しましょう。
- 9年間の継続を図りましょう。

【自校化】

- 自校のよさと課題を踏まえた自校化をはかりましょう。

(平成29年10月 宮城県教育委員会)

(参考) 第2回東松島市「子ども未来サミット」より



東松島市「子ども宣言2021」

わたしたちは、このまちの子どもとして、豊かな自然や人の温かさにふれ、デジタルメディアとの関わり方を考え、健康的な生活を送るために宣言します。

<デジタルメディア・コントロール3本柱>

「時間・情報・健康」

- ひ … 人との交流をふかめて、デジタルメディア・コントロールをしよう
- (時間) が … 学習やすきなこと、家族とのだんらんの時間を大切にしよう
- (情報) ま … マナーを守り、個人情報を管理しよう
- (健康) つ … 使い方を考え、食事やすいみんをしっかりとろう

(市内小・中学生が意見を交流し、令和3年7月31日に宣言しました。)